



年頭のごあいさつ

石巻市長 亀山 紘

明けましておめでとございます。市民の皆様には、希望に満ちた平成23年の新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

早いもので、石巻市も平成17年の合併以来、7年目を迎えます。

昨年を振り返りますと、日本国内では、長引く経済の低迷や雇用情勢の悪化、そして円高など、国民にとって、非常に厳しく不安定な年でありました。

一方、石巻市に目を向けますと、日本製紙石巻硬式野球部が、東北第一代表として、そして我が石巻市の代表として、昨年8月に開催されました「第81回都市対抗野球大会」に初出場結果は、強豪ヤマハ野球部に惜敗しましたが、石巻市の名を全国に知らしめるなど明るい話題もありました。

また、市政に目を向けますと、依然厳しい財政状況の中ではありましたが、昨年3月に市民サロンや子育てサロン、市民ホールなど、市民開放スペースを設置した市役所新庁舎が完成し移転しました。一階には商業スペースを併設した全国的にも珍しい市役所庁舎ですが、石巻専修大学のサテライトキャンパスや各種団体の講習・講座に利用されるなど、市民活動の拠点となりつつあり、休日や夜間を含め多くの

方々に利用されています。

さらには、本市独自の施策として、住宅関連産業を中心とした経済循環の活発化と居住性の向上を目的とした住宅リフォームに対する補助制度の創設や保護者の安心を確保するための子育て支援として、子ども医療費の助成対象を小学校2年生まで拡大するなど、新たな取り組みも行いました。

このように市民の皆様のご理解・ご支援により、一歩ずつ行政課題の解決に向け前進しつつありますが、一方で福祉対策や雇用対策、中心市街地の活性化などさまざまな課題が山積してあります。

現在、地方自治体には、自らの責任と判断により行政運営を行う「地域主権」への取り組みが求められています。そのためには、市民の皆様と行政との協働のまちづくりが必要不可欠であると考えております。

これからも「市民のための」市民による「新しい石巻」を創造するため、市政運営に全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。結びに、この新しい年が皆様にとりまして、健康で幸せな年となりましますことを心からお祈り申し上げます。年のごあいさつといたします。

◇千支の特長 慈愛にあふれ、人を和ませることで、周囲から信頼と尊敬を集めるといわれています。



還暦を迎えるにあたり

阿部 文子さん
(河北地区・昭和26年生まれ)

まだまだ若いつもりでいたのですが、還暦を迎える年になってしまいました。還暦とは60年で再び生まれ年の干支に戻ることで、前向きな友人は「また新たなスタートができるのよ」と張り切っています。

私も次の還暦(?)を目指し、持ち前の好奇心旺盛さでいろいろなことにチャレンジしたいです。そして孫たちからパワーをもらい、ウサギのようにピョンピョンと元氣な年でありたいと思います。



一人前の仕事人に!

渡邊 新之助さん
(雄勝地区・昭和62年生まれ)

家業のホタテとカキの養殖業を継いで、今年で4年目(実際は中学生のころから手伝いをしていたので、この道、はや10年?)になります。

船舶の免許の資格も取得し、今後の目標は、父から養殖の技術を学び早く一人前の仕事人になることです。

また、家族を大切に、自分を育ててくれたこの地域が、いつまでもいきいきとしていたら最高です。



笑顔に囲まれて

高島 美紀さん
(石巻地区・昭和38年生まれ)

我が子だけでなく、たくさんのお子どもたちの笑顔と優しさが、どんどんつながっていくような、あったか〜い一年でありますように!

楽しんで活動している石巻子ども劇場では、新しい仲間や、感動的な生の舞台とたくさん出会うことができればいいと思っています。

また、紙芝居や手作り人形劇を待っていてくれる小さな子どもたちに会いに「ぐるんぱのおはなし会」も続けていきたいです。



今年がんばりたいこと

遠藤海斗くん
(牡鹿地区・平成11年生まれ)

ぼくの通っている寄磯小学校は、全校児童が19人という小さい学校ですが、みんなで力を合わせて活動をしています。ぼくは、今年の4月から6年生になります。最上級生として、学校の行事にも勉強や運動にもねばり強く取り組んで、下級生から信頼される6年生になりたいと思います。

また、父は漁師をしています。今年は、ウニやアワビの開口と一緒に行って、父の仕事を手伝い、少しでも役に立ちたいと思います。



目標をもって

佐々木紀佳さん
(河南地区・平成11年生まれ)

私の夢は、盲導犬の訓練士になることです。

とても大変な仕事のようにですが、「ぼくは盲導犬チャンピイ」「ベルナのしっぽ」などの本を読んでいるうちに、盲導犬の訓練士になって目の不自由な人たちの役に立てればなあと思うようになりました。

それから、私は4月から6年生になるので、下級生の面倒をしっかりみることができるよう、勉強も運動も目標をもってがんばりたいと思います。

今年は卯年!!

年男・年女の皆さんに

今年の抱負や将来の夢

を伺いました。



皆さんの願い、かなうといいですね

◇うさぎに関することわざ

「兎を見て鷹を放つ」～物事は早くあきらめてはいけないことのとえ
「兎の登り坂」～物事がよい条件で順調に進むことのとえ



生涯現役 社会に還元

黒田敏さん
(石巻地区・昭和26年生まれ)

これまで60年、社会に生かされ、育てられてきたことに感謝し、地域の宝である子どもたちとの触れ合いなどを通じて、少しでも社会に還元できるような生活をしていきたいと思っています。

また、体が資本なので、健康に気をつけて、これからも農業者として、安心・安全、そしておいしい農産物を供給していきたいと思っています。それには農家が安心して生産できる体制を望んでいます。



今年も野球三昧

今野麻実さん
(北上地区・昭和50年生まれ)

今年は、長男の高校受験から始まり、次男は中学校入学、三男は5年生。3人とも野球少年なので、今年もシーズンイン後の週末は他の予定が入られないことと思います。いわゆる「おっかけ」は大変ですが、今しかできないことなので家族みんなで楽しみながらがんばりたいと思います。

このごろ、体力の衰えが気になるので、仕事が休みの日は体を動かすことを心掛けたいですね。

子どもと一緒に野球やろうかな…



家族に感謝

大友雄一郎さん
(桃生地区・昭和2年生まれ)

新年を迎え、84歳となり8回目の年男となります。

今年は、健康づくりの一環としてパークゴルフをやりたいと思います。ポケ防止に川柳などを始めるのもいいかなと思っています。他にもいろいろとやってみようという希望はありますが、どれもこれもと欲ばかり出しても仕方が無いので、まず、健康で皆さんに好かれる年寄りの一年にしたいです。